

令和2年度学校評価報告書（定時制）

令和2年3月10日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭栄高等学校長 新山 知邦

次のとおり令和2年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 1 学習指導の充実に努め、自ら学ぶ意欲と態度を養う。
- 2 基本的な生活習慣と自主性・協調性の育成に努め、道徳的実践力を養う。
- 3 個性・能力を伸ばさせる指導の充実に努め、社会的自立への挑戦を支援する。
- 4 健康・安全教育の充実・強化に努め、心身の健康について自己管理能力を高める。
- 5 ワークライフバランスを踏まえた教育活動を推進し、明るく事故のない職場環境を構築する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に即した編成がなされているが、学習指導要領の改訂に向けて、PDCAサイクルをもとにより一層に、課題と授業改善に取り組んでいくことが必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね適切であるという評価する。 ・教育内容や方法でなく情報伝達が重要である。 ・コロナ禍の中生徒相談の充実に評価する。 ・保護者の満足度が低いと思う。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・中間反省、年度末反省から委員会等での十分な説明責任を果たす ・生徒の活動をHP等を通じて伝えて検討を経て来年度計画に反映する。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から実施する、1年生に加えた総合的な探求の時間を前倒して。国語、数学、一般常識の学習により、基礎学力の定着を図る。 ・教育的支援を必要とする生徒に対して、外部との連携の強化を一層図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は学校教育に満足している。 ・改善点を「誰が、何を、どのようにするか」具体的に示すべき。 ・B評価をA評価にする具体的な取組を推進すべき。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・達成の状況と取組の適切さに生徒・保護者評価を反映できるように生徒・保護者の評価数値に基づき判断していく。 ・改善点の具体化については、生徒、保護者評価の観点を含めて見直しを図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を確立し、自他共に命の大切さや共に生活していく社会性を身につけさせていく。 ・学校が安全で安心して生活できる環境を、様々な場面を通じて危機管理を中心に構築していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導でのA評価は納得である ・面談など生徒の精神面に配慮していることを評価する。 ・改善点を「誰が、何を、どのようにするか」具体的に示すべき。 ・B評価をA評価にする具体的な取組を示すべき。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・達成の状況と取組の適切さに生徒・保護者評価を反映できるように生徒・保護者の評価数値に基づき判断していく。 ・評価の高い精神的サポートや健康支援等をシステム化することによりさらなる改善を図る。 	

健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や防犯訓練を通し、危機管理を充実させ命の尊さについて考えさせる指導を一層強化する。 ・学校給食を通し、食育の基本である生きる上での、健全な食生活を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は学校教育に満足している。 ・改善点を「誰が、何を、どのようにするか」具体的に示すべき。 ・定時制ならではの給食の取組等により健康面への配慮していることを評価する
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・健康安全指導の充実のために、とりわけ命の尊さについての学習の取組を充実させていく。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向け、一部体制を再構築して継続的・計画的な指導を推進し、社会性を身につけられるように指導する。 ・令和4年度から、総合的な探求の時間を1単位増加して、キャリア教育の充実を図る。 ・インターンシップの体制の改善及びアルバイト先との連携を図り、進路実現や社会人としての意識を高めるとともに、外部講師を召喚してキャリア教育の場を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のアンケートでの評価では、ほとんどが満足しているので、評価を上げて良いと思う。 ・時間をかけた進路指導が充実することを期待します。 ・改善点を「誰が、何を、どのようにするか」具体的に示すべき。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・系統的・継承的なキャリア教育が実現できるよう、3年間を見とおしたキャリア教育の計画を時間をかけて立てていく。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の安全点検や巡視を繰り返す。(施設設備) ・HP及び楽メにより教育活動の外部PRと保護者との連携に努める。(地域との連携) ・「三者面談」の内容の充実を図る。(保護者との連携) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設設備が有効に使われていることを評価する。 ・保護者との連携に少し問題があると思う。 ・コロナ禍において生徒・保護者の評価が高かったことは立派である。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・評価を高めるためには、HPで情報発信するだけでなく、コロナ禍のような場面でも、授業参観に代わる取組や行事の情報伝達をどうするかの新たな取り組みが必要である。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の結果を全教職員及び学校評議員、PTA役員に公表するとともに、学校HPにも掲載した。 	